

私にできることって何だろう？　　高齢者とう向き合う？　　

須崎市立浦ノ内中学校二年　森田沙和良

皆さんは、高齢の方とどのように接していますか。近年、高齢の方に対し、親族などが暴力を振るう、暴言を吐く、無視をする、財産を無断で処分する、介護を放棄するなどの虐待が問題になっています。

私は、父、母、兄に加えて、祖父母とも一緒に暮らしています。父と母は、家にいる時間が少ないこともあり、私は、祖父母の世話になっっています。最近、リビングで食事をしているときなどに、祖母の物忘れや、耳の遠さを目にすることがあり、私は不安を感じ始めています。

あるとき、父が祖母に対して強い口調で話していました。恐怖や不安、切なさなどが入り混じった感情が湧いてきました。父は普段からきつく当たっているというわけではなく、祖母が同じことをしつこく質問したり、耳が

遠いことにいら立ちを覚えたりしたからだと思えます。私も、何度も聞き返す祖母に腹が立って、偉そうな口をきくことが時々あります。だけど、その後の祖母の悲しそうな顔を見ると、「またやってしまった」と罪悪感が湧きます。

最近では、強い口調にならないように意識して、普段どおりに過ごすことを心がけてますが、この先、祖父母の老化が進んで認知症になってしまったとき、私は介護の仕方也不知道いし、どうしたらいいのかきつとわからないくなると思います。腹が立ってきつく当たってしまいうちがあるのかもしれない。そうならないように私はどうしたらいいのか、何を意識したらいいのかを考えました。そして、祖父母に今の気持ちを率直に聞くことにしました。

まずは、私が小さい頃、祖父母が私の世話をどうやってしていたのか聞いてみることにしました。私は三人兄妹の末っ子で、わがま

まばかり言う子どもだった記憶があります。寂しがりやで、母や祖母が離れるとひたすら泣いている、今とは全く違う性格でした。祖母は、私が小さい頃、おむつを変えたり、おもりをしたりする中で、さびしくて泣いているのをなだめることが大変だったそうです。この話を聞いて、私は、もしかすると赤ちゃんのお世話と高齢の方に対しての介護は少しだけ共通点があるのではないかと思いました。高齢の方は認知症などの病気や生活環境の変化、心理的な不安などで「赤ちゃん返り」が起こるそうです。しかし、高齢の方は赤ちゃんではないので、一人の人間として寄り添うことが大事なのではないかと考えました。次に、私にできることは何か、祖父母は私にどうしてももらった嬉しいのかを聞くことができなくなったら病院へ行ったり、入院したりさせてほしい」「家族の顔を見たい」「食事の支度、洗濯、片付けなどの家事をしても

らいたい」「優しくしてくれたら嬉しい」「買
い物にも行ってほしい」と本音を語ってくれ
ました。

話を聞きながら私は、入院したいと思う高
齢の方は少なく、家にいたいと思う人が多い
と聞いていましたが、人それぞれ考え方は違
うので、祖母がどうしたいのかを理解してい
きたいです。祖母が話してくれたことは、私
にとってはやることが多くて大変かもしれな
いけれど、「優しく接する」ことは、今の自分
にはまだまだできていないし、祖母も冷たく
されると心細いと思うので、優しく接するこ
とを今以上に意識していきたいと思います。
家事をすることも大事ですが、祖父母の気持
ちに寄り添うことも大切だと感じました。
また、祖父母の不安をなくすために、私は
どうしたらいいのか考えました。祖父母は、
「自分のことがわからなくなるから、認知症
になりたくない」「歩けなくなったら、自分で
動けないから嫌だ」「自分の身の回りのことが

できなくなったら困る」と言っていたので、認知症対策としても、一緒にウォーキングに行くなど、最近なかった祖父母との交流を深めながら、少しでも不安が軽くなるように、私のできることを頑張りたいと思います。

私は、祖父母にたくさん世話になってきました。父母に怒られて泣いたときは、話を聞いてくれて、そばにいてくれました。祖母は毎日美味しいご飯を作ってくれました。それなのに、無意識のうちに冷たく接し、深く関わろうとしませんでした。だから、これを機に祖父母と向き合い恩返しをしていきたいと思いました。

祖父母には、安心して楽しい生活を送ってほしいので、今まで任せきりだった家事はもちろん、祖父母の力になれることを、これから少しずつやりながら、今度は私が祖父母の支えになっていきたいです。